「ラブアースクリーンアップ イン 八剣山」

好天の下、約40人が参加楽しくにぎやかに

【行事の概要】

「ラブアースクリーンアップ イン北海道」は、地球の未来を考え自然や、かけがえのない地球を愛するために、まず身近な地域を愛することから始めよう一という趣旨で4月から6月にかけて全道各地で取り組まれま

す。八剣山発 見隊も2002 年10月独自 に取り組んだ のを皮切りに、 2004年から は全道の取り 組みに協賛、 毎年6月に取



り組むようになりました。今年は北海商科大学の先生3人と学生22人、 この中には中国(15人)と韓国(3人)の留学生も含まれています。こうし た催しを通じて国際交流が深まるのはうれしいことです。発見隊からは 8人、瀬戸さんと、桜井学さんのご家族、総勢40人が参加しました。 それでも橋の下などには、空き缶がまとめて散乱、道路沿いにも時折、 ジュース缶やペットボトルは投げられており、わざわざ車からポイ捨て するのか、本当に困ったものです。



【行事の模様、結果】





路沿いは毎年のクリーンアップが功を奏したのか、比較的ごみの散乱 は少なく、参加者もやや拍子抜け。 最もひどかっ たのは豊平 川沿いの雑 木林の中。 数百本のタイ ヤの廃棄物 が 2 か所、車 3台、これら の廃棄を請 け負った業者 が正規の処 理をせず、捨 てたものと思 われます。瀬 戸さんは「昨 年、ほぼ片付 けたので、今 年やれば完





全に一掃できると考えていたのに、この1年でまた大量に捨てられた」とがっかりした様子。支援の留学生もこの惨状に驚いた様子。これにめげずに約2時間せっせと運び出し、軽トラックで約10台分のタイヤなどを処理しました。中国・雲南省から留学中の蘇静崗君(21)は「北海道はきれいなところと思っていたので残念。それでも北海道は素晴らしいところと、こうしたあまり見たくないところがあるのが分かった、両方をきちんと見て帰りたい」と道民にちょっぴり痛い感想を述べてくれました。留学生の皆さん、ご苦労様でした。北海道のよいところもたくさん学んで帰ってください。













処理したタイヤ:約500本 作業した人:40人



気温25℃ みなさんの汗と笑顔が輝きました。

発見隊今後の行事予定

6月13日 農業小学校(応援隊)

6月20日 農作業体験 リンゴのすぐり(隊主催)

7月4日 農業小学校(応援隊)

7月9日 いちご整理作業 (隊員限定)

7月18日 さくらんぼ祭り (隊主催)

7月3日~7月末日 さくらんぼ整理作業(隊員限定)

8月23日 農業小学校(応援隊)

発行:八剣山発見隊(事務局長 瀬戸修一)

〒061-2275 札幌市南区砥山84番地

☎·FAX 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

URL http://hakkenzan.com/